

記入例（4月以降、大学生年代のお子様を養育されない場合）

様式第4号（第2条・第3条関係）

児童手当の受給者について記入してください。（児童手当振込口座の名義人）

額改定認定請求書 額 改 定 届

記号番号：
受給者コード
提出年月日
令和 〇・〇・〇
※受付確認年月日
令和 ． ．

伊丹市
氏名
（法人名等）
いたみ だろう
伊丹 太郎
住所
（法人の主たる事務所の所在地）
〒664 - 8503
兵庫県伊丹市〇〇 〇-〇-〇
電話 070 (〇〇〇〇) 〇〇

受給者
性別 男 女
生年月日 昭和 51 ． 1 ． 1
平成
職業
ア. 被用者
イ. 公務員
ウ. 被用者等でない者

加入している公的年金制度
ア. 厚生年金保険
※以下の共済組合の組合員である場合は、その組合員番号を記入してください。（ ）
イ. 私立学校教職員共済
（ ） 国家公務員共済
（ ） 地方公務員等共済

増 額 又 は 減 額 の 別
増 額 ． 減 額

増 額 又 は 減 額 の 原 因 と な る 児 童

氏名	続柄	生 年 月 日	同居・別居の別	海外留学をしている場合の出国年月	住所	監護の有無	生計関係	※児童との関係で、該当する場合に○印
伊丹 楓	子	平成 19 ． 5 ． 1 令和	同 ． 別	令和 年 月		有 ． 無	同 ． 維持	・ 未成年後見人 ・ 父母指定者 ・ 同居父母
		平成 ． ． 令和	同 ． 別	令和 年 月		有 ． 無	同 ． 維持	・ 未成年後見人 ・ 父母指定者 ・ 同居父母
		平成 ． ． 令和	同 ． 別	令和 年 月		有 ． 無	同 ． 維持	・ 未成年後見人 ・ 父母指定者 ・ 同居父母

増 額 又 は 減 額 の 原 因 と な る 児 童 の 兄 姉 等
（18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者）

氏名	続柄	生 年 月 日	同居・別居の別	海外留学をしている場合の出国年月	住所	監護相当の有無	生計費負担の有無
伊丹 桃子	子	平成 16 ． 7 ． 1 令和	同 ． 別	令和 年 月		有 ． 無	有 ． 無

増 額 し た 理 由
ア. 出生
イ. その他（ ）

減 額 し た 理 由
ア. 死亡した
イ. 監護しなくなった
ウ. 生計を同じくしなくなった
エ. 生計を維持しなくなった
オ. 日本国内に住所を有しなくなった（留学を理由とするものを除く）
カ. 未成年後見人でなくなった
キ. 児童の兄弟等を監護相当の世話をしなくなった
ク. 児童の兄弟等の生計費の負担をしなくなった
ケ. 父母指定者でなくなった（児童の生計を維持する父母等の帰国）
コ. 児童自立生活援助を受け、里親等に委託され、又は児童福祉施設等に入所若しくは入院するに至った
サ. 児童と同居しなくなった（単身赴任の場合を除く）
シ. その他（ ）

事 由 の 発 生 し た 年 月 日
令和 8 ． 3 ． 31

備 考

※ 認 定 ・ 改 定 ・ 却 下	※ 認 定 ・ 改 定 ・ 却 下 年 月 日	※ 認 定 ・ 改 定 年 月	※ 手 当 月 額
	令和 ． ．	令和 ． ．	3歳未満分 3歳以上分 計 円 円 円

【受給者・配偶者等共通】
下記の表を参考に、あてはまる項目を選択してください。

民間企業、独立行政法人等に勤めている	ア. 被用者
正規職員として行政機関に勤めている	イ. 公務員
自営業、無職等	ウ. 被用者等でない者

今年度末で高校を卒業し、養育をされないお子様を記入してください。
※養育をされていた、3月末までの情報で記入をしてください。

今年度末で学校を卒業する大学生年代のお子様で、養育をされないお子様を記入してください。
※養育をされていた、3月末までの情報で記入をしてください。

住民票上、受給者と別居していた場合は、住所を記入してください。（記入例は同居の場合）

◎ ※印の欄は、記入しないでください。

◎ 字は、楷書（かいしょ）ではっきり書いてください。

年金照会 要

住所照会 要

データ

確認

決裁